

民生委員・児童委員の活動を発信!!

Well うエル おおさか

Vol. **53**
2025
summer
7月

水都くわんか花火大会
写真提供 枚方市

特集

- ①子どもや親世代に民生委員・児童委員活動を伝える
- ②新任委員をサポートする取り組み

◎イキイキハツラツ 民生委員・児童委員さん
枚方市民生委員児童委員協議会

民児協だより
豊能町民児協／寝屋川民児協／八尾市民児協／貝塚市民児協

読者プレゼント

焼き菓子詰め合わせセット **4名様**

詳細は、
P14を
みてね!

淀川河川公園



京阪枚方市駅



子どもや親世代に 民生委員・児童委員の活動を伝える①

特集

富田林市民生委員児童委員協議会

民生委員・児童委員（以下、民生委員）の担い手不足の問題には、ライフサイクルの中で、民生委員について知る機会が少ないため、認知度が低いこと、活動の大変さや苦勞ばかりが伝わり、やりがいをも十分にアピールできていないことなどが、継続的な課題としてあります。

今回は、子どもや若い世代、親世代と積極的にかかわりをもつ、民児協の取り組みをご紹介します。

「むかしの富田林」動画制作

経緯

富田林市民生委員児童委員協議会の児童部会では、「むかしの富田林」という動画を制作。1950年代はじめの新堂地区の子どもたちの生活を、温かいタッチの絵で紙芝居風に紹介しています。

元児童部会の道味さん（ペンネーム）が、小学2～3年生だった頃の生活を伝えたいとの思いから、描き溜めていたラフなスケッチを元に制作。本編の語りは道味さん、挿絵の色塗りやナレーションの録音作業は児童部会員が行いました。表紙の絵だけは、ご自宅でこどもたちに絵を教えている民生委員の方に依頼。全体の構成・シナリオ・DVD制作は地域のボランティアの方が担当し、みんなで協力して38分47秒のDVDを完成させました。



完成したDVD
「むかしの富田林」、
民児協だより
「くすの木」でも紹介。



富田林市のインターネットテレビ「とんテレ」に出演の様子。
右から2人目が道味さん

こんな活動につなげています

●市内16校の小学校へDVDを配布

児童部会員が担当小学校区へ持参。校長先生と面談し、学校で役立てていただけたらと提案しました。

先生方の反応もよく、中学年の授業に「昔の遊び」という取り組みがあるので、是非、活用させていただきたいと言っていました。

●とんテレに出演

富田林市が制作するインターネットテレビ「富田林テレビ（愛称：とんテレ）」に出演。DVD「むかしの富田林」を紹介するとともに、民生委員が市役所などの担当部署とのつなぎ役として、日々活動していることをアピールしました。

また、動画はYouTubeでも視聴でき、若い世代の方の目に留まるよう、アピールしています。

●幹事会で配布、総会・民児協だよりで紹介し 民生委員間で共有

民児協の役員、各部会、16校区の地区長が参加する幹事会で配布し、活用を促しました。

昨年12月に開催された富田林市民児協の総会でDVD「むかしの富田林」を紹介。民児協だより「くすの木」でも紹介されました。



左から 永田 真弓さん、藏田 和子児童部会長、芝本 とも子会長、
西野 昌代さん

子ども食堂と民生委員のかかわり

①子ども食堂にインタビュー

経緯

富田林市には、17か所の子ども食堂があります。児童部会の中では、子ども食堂について詳しく知らないメンバーもいました。そこで、児童部会のメンバーが実際に子ども食堂を訪問し、インタビューを実施。子どもたちの様子や運営される方々の現状を知り、交流を通じて、子ども食堂とのかかわりが増えました。

こんな活動につながっています

インタビューをきっかけに、子ども食堂の活動に共感。ボランティアで、月に一度、片づけのお手伝いに参加するようになった民生委員もいます。

子ども食堂は、子どもの居場所であり、地域の人とお喋りできるふれ合いの場。困っている人や居場所が必要な子どもたちがいたら、子ども食堂につなぐことで、家と学校以外の安心できるスペースを提供することができます。



②民生委員がかかわって立ち上げた子ども食堂

経緯

富田林市の子ども食堂のひとつ、川西小学校内の「みなよる(※1)」を活用した子ども食堂は、民生委員が中心になって立ち上げた子ども食堂です。

元々、川西小学校では、朝ごはんを食べていない子どもたちがいることから「おむすびの日」を設けており、民生委員もボランティアとして参加していました。令和3年、校長先生たちの子ども食堂への思いに共感し、小学校内の多目的室を活用して、2人の民生委員とボランティアが中心になって3人でスタート。今では、「みなよる」の子ども食堂として大勢のボランティアも交えたスタッフで、お持ち帰り用も含めた手作り弁当を提供し、幼稚園から中学生の子どもたちが一緒に食事をしています。

こんな活動につながっています

富田林市内17か所の子ども食堂は、人権協議会、障害者作業所、若者の育成拠点(中・高・大学生)など様々な団体によって運営されています。また、子どもたちにとっては、放課後や休日に安心して過ごすことができる居場所、家族や学校の先生とは違う様々な世代の大人たちと出会い、いろいろな考えや知恵、価値観に触れられる貴重な機会になっています。富田林市では、令和7年4月に「つながりフードサポートセンター」(※)もオープンしました。子ども食堂の充実は、子どもたちや子育て世帯への支援の充実につながります。民生委員は「地域の子育て応援団」としてこれらの動きを通して地域の実状にふれ、活動を進めています。

※つながりフードサポートセンターホームページ <http://tsunasapo.jp/>

※1) 地域総合拠点「みなよる」

富田林市の全16小学校区に開設されている、みんなが気兼ねなく集まれる空間「みなよる」。学校の余裕教室などを、学校・地域・家庭・行政が連携・協働して子どもたちの成長を支える場として活用し、地域の交流や課題解決をめざす地域総合拠点です。

芝本会長からひとこと

ある地区では、小学校で採れた野菜をおみそ汁にさせていただき学校行事(年1回)に民生委員も参加。学校、PTAと一緒に活動するなど、子どもたちや保護者の方と関わる機会を持っています。民生委員の存在、活動を知っていただき、若い方にも民生委員を引き受けてもらえればと思っています。また、お仕事がある方も参加しやすいように一昨年から民児協の活動も少しずつ変えてきました。できるだけ負担がないよう、地域の困りごとなどを共有しながら、みなさんに「民生委員をやってよかったな、楽しかったな」という気持ちを持ってもらえることが私の理想です。

子どもや親世代に 民生委員・児童委員の活動を伝える②

特集

島本町民生委員児童委員協議会

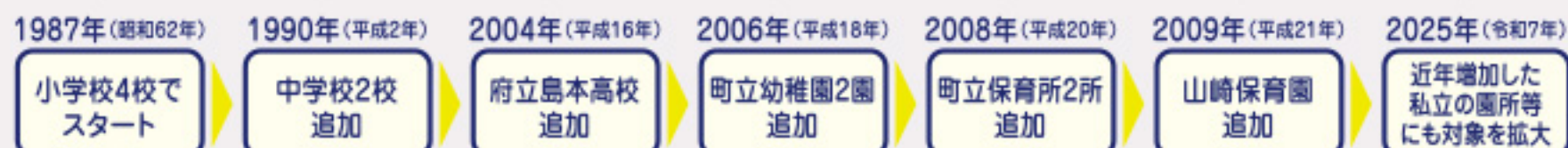
PTAとの交流会

経緯

1987年(昭和62年)から始まった、島本町民児協とPTAとの交流会。学校、地域、家庭が協働し、「児童の健全育成の推進を図ろう」との思いから始まりました。交流会では、民生委員・児童委員(以下、民生委員)と主任児童委員の存在や役割を少しでも多くの方々に知ってもらい、子どもの親世代と交流を図る大切な機会となっています。

最初は小学校4校でスタートし、PTAの参加者も役員のみでした。今では、地区委員、補導委員、学級委員など、多くのPTAの方が参加され、交流会に関心を持ってもらえるようになりました。民児協の参加者も三役と部会委員からのスタートでしたが、現在は各地区の民生委員も参加しています。

交流会の対象も1990年(平成2年)には中学校2校が加わり、高校、幼稚園、保育所と拡大。今では、毎年6・7月に各教育機関等と地域の民生委員の交流会を開催しています。



交流会の流れ

① 民生委員・児童委員の活動紹介

ある交流会では、はじめに大阪府と府民児協連が共同作成した動画『民生委員・児童委員紹介ムービー』を上映。分かりやすい動画で概要を理解していただいた後、リーフレットを見ながら活動について説明します。



大阪府社会福祉協議会・地域福祉部
【大阪府】民生委員・児童委員紹介ムービー3分



QRコード読み取りまたは、URLを検索してください

https://youtu.be/cfE_TiZPv8w



手描きリーフレットを全戸配布

民生委員の紹介リーフレットに、担当委員の名前と連絡先を記入し、年に1回、全戸配布。見守りが必要な世帯には、対面でリーフレットを渡しています。

イラストも文字も民生委員の手描き。カラフルな厚手の紙を採用し、保存してもらえるよう工夫しています。



左から 山本 光一さん(会計)、山田 真理子副会長、中本 眞智子会長
花田 純子副会長

②グループディスカッション

参加人数が多い会場では、7～8人のグループに分かれ、各グループに民生委員を配置。ディスカッションで活発な意見交換を行い、グループごとに発表してもらいます。



PTAとの交流会の様子

【意見交換の主な内容】

地域の困りごとの相談

「不審者が出たので、子どもを外に出すのが心配」という意見があった時、周辺の民生委員に声をかけて、見守りを強化しました。

危険箇所の確認

新築マンション建設やスーパー開店などで車の交通量が増えたため、通学路の安全について話し合いました。

保護者の悩み相談

「ゲームのしすぎ」「あそび場が少ない」「スマホの扱い」など、保護者が抱える悩みを共有しつつ、家庭での話し合いの大切さ、子どもとのルールを決めるなど、対応策などについて話し合いました。

民生委員が気づいたこと

歩行者専用通路での自転車での交通ルールやマナーなど、子どもたちが危険な運転をしないよう注意を呼びかけました。

交流会・参加者の声

【保護者】

- 今まで、民生委員という言葉しか知りませんでした。交流会を通じて、その存在や仕事を知り、地域に自分を担当してくれる民生委員がいることを知りました。
- 子どもが生まれてすぐに島本町に転入。知り合いが全然いなくて困っていたら、民生委員さんに声をかけていただき、相談に乗ってもらえて助かりました。
- 近所によく子どもが泣いている家庭があり、通報して大袈裟にはしたくないが、どこに相談したらいいかわからない。そんな、ちょっと気になることを民生委員さんに相談できると初めて知りました。

【民生委員・児童委員】

- 民生委員の活動が、以前に比べて周知されてきたように感じます。
- 学校の情報や子どもたちの情報、地域の情報、「携帯ばかり見ている」といった、今どきの子どもたちの家庭での様子を知ることができる貴重な機会になっています。
- 交流会で顔見知りになることで、声がかけやすくなり、地元で会ったときに世間話ができるようになりました。
- ご近所の気になる事を相談できること、関係機関につなげられることをお伝えすることで、私たちも地域の方々から情報を得られるようになり助かります。

中本会長からひとこと

交流会は多い時は50人以上参加していましたが、2020年・2021年は新型コロナの影響で全く開催できず、コロナ以降は参加者が減るなど、会議のあり方も変わってきました。今後も交流会は継続していきたいので、PTAの皆さんが参加しやすいように、交流会の持ち方を変えていく必要があると感じています。

子どもたちとは、「おはよう」「こんにちは」の挨拶から顔見知りになって、言葉のキャッチボールができる関係づくりをしていきたいですね。交流会や様々な活動を通じて、いつでも気軽に話せるおばちゃん・おじちゃんになりたいと思います。

5月は「孤独・孤立対策強化月間」です。

5月12日からの1週間は 「民生委員・児童委員の日活動強化週間」です

大阪府では、毎年5月に「地域における困りごとのつなぎ役」や「身近な相談相手」である民生委員・児童委員（以下、民生委員）の活動周知に取り組むとともに、「孤独・孤立」についての理解・意識や機運を社会全体で高めていくための啓発活動を行っています。令和7年度は、吹田市と富田林市にご協力いただき、実施しました。

吹田市民生・児童委員協議会「夢のファミリーフェスタ」

令和7年5月10日(土) 13:00～16:00 吹田市文化会館(メシアター)

吹田市の民生委員の皆さんが開催する親子で楽しめるイベントに参画させていただきました。子どもたちが輪投げや魚釣り等のゲームを回るスタンプラリーに、大阪府も「ミンジー×もずやん 缶バッチづくりコーナー」として参加しました。イベントには約1,300人の来場があり、約600人の子どもたちが缶バッチづくりに挑戦しました。

楽しそうにスタンプラリーを回る子どもたちの笑顔と、いきいきと活動される民生委員さんたちの姿が印象的なイベントでした。

吹田市民生・児童委員協議会の木田正章会長、すいたんと一緒にもずやんもオープニングに参加



民生委員「困りごと、一人で抱えていませんか？」と孤独・孤立対策「話してみたところが少し軽くなった」のポスターの前でもずやんも一緒にPR



大人の方には、万博グッズと一緒に啓発チラシを配布



子どもたちは好きなデザインを選んで名前やメッセージ入りのオリジナル缶バッチづくり



富田林市「福祉なんでも相談(出張相談会)」

令和7年5月28日(水) 9:30～12:00 オークワ富田林旭ヶ丘店

富田林市の福祉専門職が連携して高齢者を支える活動を行う「安心きづき隊」が実施する出張相談会と、富田林市孤独・孤立対策強化月間啓発イベントが、近鉄長野線の喜志駅近くのスーパー「オークワ」で開催されました。大阪府も参画させていただき、民生委員活動及び孤独・孤立対策の啓発として、富田林市の民生委員さんと「ミンジー×もずやん 缶バッチセット」の配布を行いました。

地域の方にとって、生活のなかで「ちょっと気になること」をお買い物ついでに福祉専門職に相談できるととても貴重な催しでした。

富田林市民生委員児童委員協議会の芝本とも子会長と一緒にPR



～「あなた」から「あなた」に缶バッチを届けませんか～ミンジーともずやんの缶バッチをセットで配布。家族や近所の方と分け合うことで「つながる」きっかけに。



一斉改選まで、残すところ5か月。

一斉改選まであと5か月！
今こそ、活動の再点検をしましょう。

この機会に、継続する委員は、これまでの活動や住民への向きあい方について振り返り、活動の再点検をしましょう。活動の魅力や“やりがい”を再発見するかもしれません。また、改選後に取り組みたいことなど、新たなアイデアが生まれることもあるでしょう。

退任予定の委員は、これまでの活動で培ってきたノウハウを整理しながら、後任委員に引き継ぐ準備をしましょう。下記に、一斉改選に向けた引き継ぎ等の準備ポイントを掲載しますので、ぜひ参考にしてください。

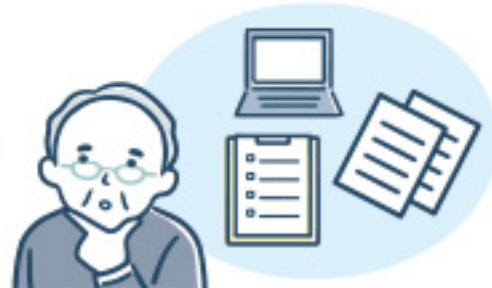
一斉改選に向けた引き継ぎ等の準備ポイント

単位民児協運営の手引き【令和4年3月版】より引用（全民児連発行）

POINT

1 福祉票などの整理を進めましょう

引継ぎの際に慌てないためにも、とくに福祉票などの諸票は、日ごろからきちんと整理しておくことが重要です。退任前までに記載内容を点検し、最新の情報が反映されているようにしましょう。



POINT

2 必要な情報は、本人や家族に確認して引き継ぎましょう

「福祉票」などには、住民のプライバシーに関わる情報も含まれていますが、支援が途切れることなく行われるためには、後任委員に引き継がれる必要のある情報もあります。

事前に本人や家族に「引き継いで良いことかどうか」を相談し、了解を得たうえで引き継ぎましょう。なお、活動に必要なない情報は引き継がないようにしましょう。場合によっては、必要な情報だけを抜き書きするなどの対応が必要になります。



POINT

3 活動に必要な地域情報も引き継ぎましょう

単に書類を引き継ぐだけでなく、それまでの活動の経験に基づいた、地域の状況や福祉課題等の細やかな情報も引き継ぎましょう。ただし、常に客観的な情報を伝えるよう留意しましょう。

POINT

4 後任委員が円滑に活動できるよう準備しましょう

引き継ぐべき要点の一つに、住民との信頼関係があります。信頼関係はすぐには築けるものではありません。前任者として後任委員の相談にのり、アドバイスするなどのサポートも大切です。

担当区域内では前もって交替について知らせておき、引き継ぎ後に速やかに後任委員を紹介できるようにし、後任委員が円滑に活動できる環境を整えましょう。

POINT

5 委員活動の心構え、やりがいや喜びも伝えましょう

後任委員に、活動の内容や範囲、心構えなどについて、できるだけ具体的に説明できるよう準備しましょう。加えて、委員活動のやりがいや喜びなど、新任研修や会長からの話などとは別に、前任者から丁寧に伝えてもらうことで、後任委員の意欲や積極的な活動にもつながります。



民生委員・児童委員さん

●枚方市民生委員児童委員協議会●

委員同士の絆を深める座談会を実施

枚方市民生協では、毎年、児童映画大会を開催し、民生委員・児童委員（以下、民生委員）の活動を市民へ啓発しています。また、校区委員長会議後の「おさらい会」や民生委員から聞く率直な意見交換会「座談会」を開くことで、民生委員同士の絆を深め、活動しやすい環境づくりに取り組んでいます。

市民に愛される恒例の映画大会 上映前に民生委員活動をPR

枚方市では、民児協主催の市民向けイベントとして、毎年8月に「夏休み児童映画大会」を開催しています。小学生以下の子どもとその保護者を対象に、アニメなどの映画を上映する催しで、30年以上続く夏の恒例行事です。午前の部・午後の部、各回200人定員で、小さなお子さんご家族が、毎年楽しみに参加されています。

以前は、当日に整理券を配っていましたが、近年は二次元コードでの申し込みにするなど手続きをICT化。上映前に全民児連や枚方市民生協のPR動画を流し、民生委員の制度や活動を紹介しています。さらに、文房具などのグッズ、民生委員の啓発用チラシなどを配布し、市民の皆さんに、民生委員のPR活動を行っています。

おさらい会で会議の内容を復習 校区委員長同士も顔の見える関係に

枚方市には小学校校区が44校区あり、枚方市民生協の毎月の定例会議として、会長・副会長・会計による「役員会」、役員と44人の校区委員長が参加する「校区委員長会」、各地区の全民生委員が参加する「地区委員会」が開催されています。

コロナ禍だった3年前の一斉改選の際、新たに任命された校区委員長の中には、経験の浅い委員が多くいました。校区委員長会議で、校区委員長が民児協の動きや活動内容を深く理解できないままでは、地区委員会での周知が十分に行き届かないことが懸念されます。

福岡眞智子会長の「地区委員会を大事にしたい」との思いもあり、校区委員長会の後、「おさらい会」を行うことに。東西南北の4ブロックに分かれ、各ブロックに副会長が入り、車座で質疑応答の時間を設けるようにしました。新任の校区委員長も質問しやすい雰囲気をつくり、各地域の些細な悩み事も相談、共有できる場に。校区委員長同士のコミュニケーションも図れる、とても有意義な時間となっています。地区委員会は校区委員長の手腕が問われるところ。より充実した地区委員会の開催と、民生委員活動が期待されます。





左より 取材に協力していただいた 村上 典代さん(会計)、奥田 かずえ副会長、岸本 和代副会長、福岡 眞智子会長、室田 博子副会長、出倉 眞紀子副会長

“若手”の思いを知るための座談会で委員同士のつながりも大切に

枚方市民児協では、民生委員の充足率アップを目的に、新しい取り組みを行っています。経験年数が浅い委員を集めた「座談会」を開催。日頃の活動をどう感じているか、一人ひとりの委員の率直な意見を聞く機会を設けました。

約20人の参加者が5、6人のグループに分かれ、和やかな雰囲気の中、日頃の活動や体験談、困りごとなどについて、活発な意見

交換が行われました。「他校区の話が聞けて良かった」「活動の内容を知ることができた」「一人で悩んでいたことが共有できた」など、参加者からは概ね好評で、2期でやめようと思っていた方に対しては「もう少し頑張りたい」と互いに励まし合う場面もありました。

民生委員の活動をより多くの方に知ってもらうため動画も作成しました。

「若い方々の気持ちを知るのは大事なこと。変えるべきところは変え、継続すべきところは継続する。働いていても介護をしてもできるような、今の時代に合う活動を考えていく必要がある。今後も皆さんとお話できる場を設け、私たちの絆を作っていきたい」と話す福岡会長。活動しやすい環境を整え、委員同士のつながりを大切にすることで、充足率を高める活動につながっています。

突然ですが・・・

ご存じですか？
民生委員・児童委員



枚方市民生委員児童委員協議会よりお知らせ

高齢になったけれど
住み慣れた街で暮らしていけるかな？

表紙写真の周辺地図をご紹介します！

水都くらわんか花火大会・淀川河川公園・京阪枚方市駅

市民の憩いの場として親しまれる淀川河川敷。晩夏には「水都くらわんか花火大会」が開催され、昨年は、枚方市・高槻市・交野市の出生数に、追悼花火 100発を加えた、5065発の花火が、夜空を彩りました。



民児協だより

【北摂ブロック】

豊能町



さあ お待ちかね
ミスターチョップリンさんをお呼びしましょう



帰りに紙風船をプレゼント



家族みんなで楽しめるパフォーマンスでした

これから子育てファミリーが楽しめる地域のふれあいイベントとして、更に充実した内容と続けるようにしたいと思います。

豊能町民児協

キッズフェスタからファミリーフェスタへ

大阪府の北部に位置する人口2万人弱の豊能町では、「子どもは豊能のたからもの」をスローガンに、毎月19日（イクジ）を「育児の日」と定め、子育て支援事業を展開しています。

一方、民児協は平成19年から、主任児童委員が中心となり、民児協のプロジェクトとして一年に一度「キッズフェスタ」を実施してきましたが、平成26年から「ファミリーフェスタ」と名称変更し、豊能

町子育て支援センターと協働して企画し広報活動し事前準備し当日の運営まで行っています。

コロナ禍により開催を断念した2年間がありました。今年4月19日（土）には第19回目の「ファミリーフェスタ」を開催することができました。

今年は演者としてコメディーマジック風船ショー「ミスターチョップリンさん」をお招きし、マジックに腹話術・風船ショー・空気砲などの多彩なパフォーマンスに子どもから大人まで会場いっぱいの笑顔がはじけました。



ワー！次々に出てくる空気輪に大喜び



小さなハンカチが大きな旗に変身するマジックにビックリ！



こどもまんなかフェスタ全体の様子

【河北ブロック】

寝屋川市

今年もやります
こどもまんなかフェスタ

寝屋川市は大阪府の東北部、淀川左岸に位置しており、大阪・京都のどちらにもアクセスの良いまちです。

令和5年に「子どもまんなか社会」の実現に向け、「こども大綱」が策定されましたが、寝屋川市民児協



広瀬市長を囲んで寝屋川まつり

ちょっと一言聞かせて!!

お子さまの年齢（月齢）は？

0歳 1歳 2歳 3歳 4歳 5歳 6歳 7歳 8歳 9歳 10歳 11歳 12歳

※ 参加費無料のイベントです。

Q1 子育てで楽しいと思う活動、どんな活動ですか？

Q2 お子さんと遊んで過ごせる場所はどこですか？

Q3 育児に悩んだ時、どんなに悩んでいましたか？

Q4 こどもまんなかフェスタに参加しての感想

Q5 寝屋川市民児協・生活困窮者支援センターについて教えてください

ご意見がどうもありがとうございます。

寝屋川市市民児協 会長 堀 内江

「ちょっと一言聞かせて」
こどもまんなかフェスタで
アンケート



寝屋川市民児協

はそれよりもひと足早く、安心して子育てができるあたたかい地域づくりをめざして「子育て♡応援プロジェクト」赤ちゃんは泣くものだよ」を立ち上げました。

本格的に活動しようとしていた矢先にコロナ禍で活動の中断を余儀なくされましたが、昨年の7月7日に「こどもまんなかフェスタ」を開催。短冊コーナー、似顔絵コーナー、足跡ゲーム、氷柱ゲームなどが大変好評で、参加者はなんと約千人！大盛況のうちに終わることができました。このイベントは寝屋川市に後援していただいており、今年も7月6日の開催が決定しています。現在企画委員会を発足し、準備を進めています。

寝屋川市長より

「子育て♡応援プロジェクト」は、当市の目指す「選ばれるまち」となるための取組の一つと認識しております。今後もより一層、担税力のある子育て世代を誘引すべく、スピード感を持って様々な施策を進めてまいります。

また、プロジェクトの主旨を理解していただくため、「寝屋川まつり」ではうちわを配布しており、今年で3年目となります。今後も思いやりのある社会、地域をめざして活動していきたいと思っております。



【民児協だより】

【河南ブロック】

八尾市



検討会のようす
座長：一般社団法人ボランティアセンター支援機構おおさか代表理事
ふくしと教育の実践研究所SOLA 主宰 新崎 国広 氏



全体報告会でのようす



報告冊子

民生委員・児童委員が 活動しやすい環境整備に 向けた検討会の実施

全国的に民生委員・児童委員の欠員が懸念されている中、八尾市においても40名程の欠員状況が続いています。その中で、委員から「まずは負担軽減を目指して現在の活動を見直すべき」と声が挙がり、令和6年度の1年間をかけ、

八尾市民児協・社協（事務局）・行政（市）で連携しながら活動しやすい環境整備に向けた検討会（計3回）を実施することになりました。

検討会では、各地区委員長（一部）がメンバーとなり、地区独自の現状の活動や課題等を出し合い、議論を重ねました。その他には、全委員に対し悩み等を聞くアンケートやヒアリング（16地区委員会・1、2期目委員）を実施し、より多くの委員の意見をお聞きしました。

検討会等でまとめた意見を基に、今後の推進計画を立て、令和7年3月に全体報告会を開催し、各委員にこれまでの活動を報告しました。検討会のメンバーからは、「これで終わるのではなく、ここからが始まりだ」という意見をいただき、新たなスタートとなりました。これからも活動しやすい環境を目指し、引き続き三者で連携しながら検討を続けていきます。

八尾市民児協



拡大地域ケア会議の様子

【泉州ブロック】

貝塚市



次世代の民生委員活動を 目指して

民生委員制度100年の歴史の中で、社会情勢や委員自身の生活環境も大きく変化してきました。そのような変化に対応すべく、私たちは「民生委員でもできること」と「民生委員にしかできないこと」を考えて活動することを心掛けてきました。



貝塚市民児協ホームページ

現在まで取り組んできた主なものは以下の4点です。

● 拡大地域ケア会議

コミュニティソーシャルワーカー！地域包括支援センター！民生委員の三者で行う地域密着ケア会議（町会単位で行う）です。従来の地域ケア会議から対象範囲を拡大し、障がい者（児）や引きこもり問題、子どもの非行、登校拒否等様々な問題を検討対象としています。

● ホームページの運営

市民への情報発信を目的に開始しました。各地域における活動報告のほか、委員への連絡、総会の録画配信等を行っています。

● 部会活動の整理

「民生委員でもできること」のうち部会活動で行ってきたことを整理し、研修委員会、広報委員会、ICT利用推進委員会等必要な部門のみに再構築しました。

● ICT化への挑戦

大阪府の福祉基金を活用した委員へのタブレット配布により、資料等のペーパーレス化に取り組んでいます。また、ホームページと連携し、

委員への情報共有等に活用しています。

今後も、引き続き時代に合った活動を目指して柔軟に変化していきたいと思っています。

貝塚市民児協



定例総会でタブレットから民児協ホームページを閲覧する方法等についての説明会を民生委員主体で実施している様子

主任児童委員の動き

今回は、能勢町民児協の主任児童委員活動についてご紹介します。

子育てサロンで親子の居場所づくりを

能勢町民児協では、生後4か月から就学前のお子さんとその保護者を対象に、毎月第2・4金曜日に子育てサロン「にこにこ」を開催しています。親子で自由遊びをしながら、保護者同士の交流の場を提供。みんなで歌ったり、体操をしたり、紙芝居をしたり、季節の行事にちなんだ工作もしています。昨年は、夏には水遊び、秋には散歩へ出かけ、イチヨウの葉やどんぐり拾いもしました。



子育てサロンは、主任児童委員部会と児童福祉部会で協力しながら運営しています。準備は

大変ですが、ハイハイをしていた赤ちゃんが1年もすると走り回る姿に成長を感じたり、参加者の楽しそうな笑顔や、保護者が嬉しそうに我が子を撮影する微笑ましい光景を見て、やりがいを感じています。

以前は10家庭ほど参加していましたが、最近は減少傾向に。能勢町は広いので、時々会場を変更し、いろいろな地域の方が参加しやすいように工夫しています。

地域と学校が連携し、広い校区の子どもたちを見守る

能勢町の義務教育の学校は「能勢ささゆり学園」1校のみで、1・9年生の子どもたちが、10キロ四方の校区から徒歩やスクールバスを利用して登校しています。主任児童委員も通学路やバス停で子どもたちの見

守りを行っています。

主任児童委員部会では、年2回、学校訪問を実施。校長先生に日頃の見守りの中で気づいたことなどを伝え、気になることや困りごとについて話し合う場を設けています。

また、能勢町民児協は、地域と学校が連携・協働して地域全体で子どもの成長を支え、学校活動の支援を行う「能勢町地域学校協働本部（ささゆりネット）」に参画しており、見守り活動だけでなく、学校行事への参加、学び支援のボランティアなど、学校とも積極的に関わっています。こうした活動を通じて、最初は何も話してくれなかった子どもたちが、悩みや不安、楽しかったことを話してくれるようになり、子どもたちが何でも話せるようなつながりを築いています。



また、能勢町の家庭教育支援チーム「ほっこり」の家庭教育支援員を主任児童委員の中で選んでいる委員もおり、5歳児（就

学前）から6年生までの子育て世帯を年3回全戸訪問する事業も担っています。子育て情報の提供から各家庭と顔見知りの関係になり、困った時に思い出してもらえ存在にと思っています。

主任児童委員部会部長の村本和子さんは「子どもは一人では大きくなれません。私たちは親子が一緒に体験できることを提供したい。乳児健診で「にこにこ」へお誘いして、幼稚園、保育所へ行くまでの親子を外に出してあげたい。広範囲な能勢町内で、主任児童委員3人でできることは限られている。関係機関とつながり、情報を得ながら、子どもたちを見守り支えていきたい」とお話されていました。



能勢町民児協の主任児童委員の左から石中 政美さん、北 智恵美 副部長、村本 和子 部長

「日本一美味しいマドレーヌを作ろう」を合言葉に、開所当初から真剣にお菓子作りに向き合ってきました。素材はできる限り国産のものを使い、試行錯誤を重ねながら焼き上げた詰め合わせです。心のこもった優しい味を、ぜひ一度お試しください。



焼き菓子詰め合わせセット 4名様

応募方法

必要事項をもれなくご記載いただき、締切日までにFAX
または本会ホームページの応募フォームからご応募ください。

応募締切 令和7年8月15日(金)午後5時必着

必要事項

- ①氏名(ふりがな)②住所③電話番号
 - ④所属(民生委員・児童委員、関係機関職員、その他)
 - ⑤一言コメント・感想
- (本誌へのご意見・ご要望などお気軽にお寄せください)

宛先

大阪府民生委員児童委員協議会連合会事務局

[FAX] 06-6762-9487

[H P] <https://www.osakafusyakyo.or.jp/minkyoo/>



〈Wellおおさか52号の当選者〉

おめでとうございます！

皆さんご応募ありがとうございました！

岸和田市U・K様、豊中市U・S様、M・S様、泉南市F・J様

事務局だより



活用してください！

『民生委員・児童委員の担い手確保・活動環境改善に関する実践事例集』

府民児協連では、令和7年2月に『民生委員・児童委員の担い手確保・活動環境改善に関する実践事例集』を発行しました。本誌は、担い手確保や活動環境改善に関する府内民児協の特色ある取り組みを紹介しています。ぜひ参考にいただき、アイデアやヒントを仲間と共有するとともに、新たなチャレンジにつなげてください。

【事例集の主な内容】

民生委員・児童委員の担い手確保について

- ①自治会等の候補者推薦母体への丁寧な説明
- ②退任者の早期把握や候補者探し
- ③多様な委員選出の仕組み
- ④時代の変化に合わせた組織体制や活動の見直し

委員の負担軽減や活動しやすい環境づくり

- ①時代の変化等にあわせた組織体制や活動の見直し
- ②民生委員・児童委員協力員制度
- ③ICTツールを活用した活動環境改善の取り組み
- ④新任委員のサポート、活動のマニュアル化
- ⑤水平型組織としての民児協運営
- ⑥担い手確保のためのPR戦略や、認知度向上のための取り組み



事例集はこちら

スマートフォンの
カメラで二次元
コードを読み
取ってください



または、下記にアクセス

URL <https://www.osakafusyakyo.or.jp/minkyoo/tebiki/index.html>

民生委員・児童委員が
応援団!!

わがまち
★逸品★

東大阪市民児協連

Vol.17

プレゼントの商品の紹介

社会福祉法人
ひびき福祉会
ハイワークひびき
のみなさん

障がいのある人たちの働く場として1977年に設立した「ひびき福祉会」。利用者さんの工賃アップを目指し、1997年に開所したのが就労継続支援B型事業の「ハイワークひびき」です。中小企業の町工場が並ぶ東大阪市の高井田地域に位置。民間企業の5階建てビルの4階部分を作業場として使用する、全国でも珍しい民間企業との合築となっています。

ハイワークひびきは、「日本一美味しいマドレーヌを作る」を目標にお菓子作りの技術を磨く、製菓専門の作業所です。約20名の利用者さんが製菓職人として、計量からミキサー、型抜き、焼成、ラッピングまで、分業しながら行っています。

クッキー、マドレーヌ、パウンドケーキなど焼き菓子全般を製造し、国産バターなど材料もできるだけ良いものを使用。青森県の紅玉、徳島県の鳴門金時など、生産農家から直接仕入れています。



紅玉を使用したりんごタルトは、多くの注文が入る人気商品。

利用者さんの丁寧な作業が、企業からの信頼を獲得し、人気店のフロランタン、ホテルウェディング用のプチシュー皮やクッキーなど、OEM(委託を受けて他社ブランドの製品を製作すること)の依頼も入るようになっています。また、全国版の情報誌にマドレーヌ・フィナンシェ・パウンドケーキセットが掲載されるなど、クオリティの高



衛生管理も徹底。
定番は30〜40種類あります。



さが伺えます。

コロナ禍の時は注文も減りましたが、その機会に特色あるお菓子を開発しようと、バームクーヘン専用のガスオーブンを購入。ゼリーの機械も導入し、夏にはお中元用のゼリーも製造するようになりました。ハイワークひびきでは、月替わりで季節感のあるお菓子をお届けする頒布会も行っています。

焼き菓子は、ひびき福祉会が運営する直販店「パレットひびき」や喫茶店「ルタンティール」で販売するほか、大学の文化祭や、東大阪市役所の庁舎内販売会に参加し、利用者さんも販売に出かけます。

「自分が型抜きしたクッキーが焼きあがる喜び、目の前で買ってもらう喜び、お給料をもらう喜び。利用者さんのできた時の喜びを大切にしています。いいお菓子をたくさん作っているので、多くの人に知ってほしい。もっと、東大阪の地域の方とつながれたらと思います」と管理者の稲川さん。今日も、東大阪の町工場に、バターや砂糖の焼ける香ばしい匂いが漂います。



吉野 幸雄さん
(東大阪市民生委員児童委員協議会連合会 会長)

中第一地区では、地域の福祉作業所が丹精込めて作られた製品を、記念品等として数年来注文しています。「ひびき」さんの焼き菓子は大変好評で、これからも皆さんの活躍を応援しています。

★お問い合わせ先★

〒577-0065 東大阪市高井田中1-8-14
TEL. 06-6618-1147

編集後記

取材に行き民生委員の方々の想いや活動を知る中で心動かされ、少しでも民生委員の方々の力になればと、想いを込めて記事を編集しました。たくさんの方の協力のもと、完成した記事が多くの方に届き、同じ想いを共有いただけたら幸いです。(I.K)

Well おおさか

vol.53
(通巻85号)



発行日:令和7年7月

発行:大阪府民生委員児童委員協議会連合会

事務局:大阪市中央区中寺1-1-54 大阪府社会福祉協議会内

TEL.06-6762-9486 FAX.06-6762-9487

URL <http://www.osakafusyakyoku.or.jp/minkyoku/>



QRコードから
簡単アクセス